

「ふくおか」から発信する、市民公益活動の情報誌

「明日を担う市民」への思いをこめて

ASUMIN

【あすみんノート】

2022 Spring

No.

27

Cultural activities
lift up a community.

Special Issue

感動でまちを元気に

Voice

筑前りょう太(NPO法人九州プロレス)

GOOD ACTIVITY FILES

特定非営利活動法人Youth creative group

文学フリマ福岡事務局

特定非営利活動法人OnPal

@DATA

アートで彩りのある生活を

Asumin Information

Asumin Recommend

輪転機で、リーズナブルに大量印刷

Hondana!

芸術文化と地域づくり アートで人とまちをしあわせに

Organization Introduction

登録団体紹介:登録番号804~807

2022(令和4)年3月15日発行

【編集・発行】福岡市NPO・ボランティア交流センター あすみん

Cultural activities
lift up a community.

感動で まちを元気に

音楽や演劇、芸術やエンターテインメント。毎日の暮らしの中で出会う喜びや楽しみは、私たちの心をより豊かなものにしてくれます。時には、心の傷を癒してくれたり、明日への気持ちを勇気付けてくれることもあるでしょう。

一人一人の思いが重なれば、私たちのまちをよりよいものへと導く、大きな力となることも期待できます。

今号では、文化・芸術を通して、人々の心に感動を届けている活動を紹介します。

コロナ禍で疲弊したまちに新たな活力を生み出してくれるのはこのようなチャレンジなのかもしれません。

文化

ことばや衣食住、考え方など、ひとの生活に関わるすべてのもの。人が人らしく生き、他者との共感や相互理解を促し、ともに生きる社会の基盤を作っています。

芸術

美を追求・表現しようとする活動とそれによって作られる絵画、彫刻、音楽、文学、演劇、映像、舞踊など。最近ではアニメーションやゲームもメディア芸術と捉えられます。

エンターテインメント

人々を楽しませる娯楽やサービス。生活を明るく彩るものとして、マスメディアを通じて提供されてきました。近年は音楽ライブなど一度だけの「体験」を大切にする傾向が見られます。

VOICE

ボイス

NPO法人九州プロレス

筑前りょう太さん Ryota Chikuzen

どんな子どもでしたか

小学3年生でプロレスを始めるまでは体も大きくなくて、普通の子どもでした。当時はテレビのゴールデンタイムでプロレスが放送されていて、とにかくタイガーマスクが、カッコよかった。彼に近づきたいという一心で大学でもプロレス同好会に入るんですけど、その頃はすでに、卒業したらメキシコに行くと決めていました。



メキシコでのエピソードについて

プロになるためにと体重を100キロまで増やしていたんですが、メキシコに渡ってすぐに15キロ落ちました。食習慣が違うから何を食べていいかわからないし、多分ストレスもあったと思います。メキシコには3年位いました。メキシコでは大きい東洋人としてとてもはやされ、異例の半年という短期間でプロデビューしましたが、デビューまでトントン拍子でうまくいったことで慢心してしまったのでしょう。しばらくすると試合を組んでもらえなくなっていました。持っていたお金も底をついてしまい、日本の反対側で無一文になりました。野宿も覚悟した時に、ちょうど日本人向けの宿のオーナーが日本人の管理人を探していたのでそれで食いつないだり、とにかく

今号のVOICEでは「九州ば元気にするバイ！」をモットーに、活動を通して九州に住むすべての人に元気を届けている「NPO法人九州プロレス」の筑前りょう太さんにお話を伺いました。

く、いろんな苦勞をしながらもう一度頑張って、何とか試合復帰を果たせました。当時自分は、メキシコの人はずいぶん好きで、メキシコの人を見かけると、みんなその人に当たり前のようにお金を渡していたんです。暗黙の了解でお互いが支え合っていて、そこに垣根はありませんでした。今思うと、メキシコでの3年間は今につながるいい経験だったと思います。

日本に戻ってからは何をしましたか？

凱旋帰国試合を日本武道館でしましたがいい試合が出来ず、日本でのチャンスをつかみ損なって福岡に帰ってきました。その時、夢を追いかけて福岡を出たけど結局最後に戻ってこられる場所はどこなんだ。それまでは日本一強いプロレスラーが自分の目標だったんですが、自分ができるプロレスを通してここに恩返しをしよう決めました。九州プロレスを立ち上げようと動き始めたのはその時です。団体を立ち上げるにあたって、自分は九州に一流のものを持ってきて

たかったので、修行のためにまずは、千葉の団体に入りました。当初3年位しかいない予定でしたが、プロレスを通じた千葉の地元の活性化を始めて、気づいたら6年を過ごしました。地域をリング上に見立てての活動はとてもいい学びの時間になりました。



▲試合は大人から子どもまで熱狂

千葉では町おこしのNPOにも入っていましたが、みんな自分の地域に誇りを持っていてなくて、何だか無理して活動しているように見えたんです。これではより良い活動が出来ないし、何だかそのことが悔しくて自分は地域に誇りを持ちながら、堂々とお金も回せるNPOを作ろうと決意しました。九州プロレスをNPO法人にしたのもそこでの経験が大きかったです。そして、もし日本中に無理をして活動しているNPOの方がいるなら、自分たちが良いお手本になりたいと考えるようになりました。

プロレスの試合について

所属レスラーは自分一人という状況からスタートした活動も、コロナ前には年間50試合を開催するまでに

なりました。今福岡が活気があるのは、九州各県からいろんな人が来てくれてるおかげで、その預かっている活気を各県に返していけないといけない、これをモチベーションに、被災地や、過疎地などでも試合をやらせてもらっています。

多くの試合は入場無料で、訪問先の企業の方からの寄付などを活動の原資にしています。

施設慰問について

自分たちは試合と施設慰問をセットで開催しています。それは中には試合を見に行きたくても、何らかの理由でそれが叶わない方がいるからです。だけど実は、元気を求めている人ってそういう人じゃないかと思っています。だから、試合の一週間くらい前に施設を訪問してコミュニケーションを取るようになっています。わかりやすく伝えるために「慰問」と呼びますが、彼らは慰められたとは思っていません。そこにいるのは高齢者や、障がい者という厳しい現状と戦うファイターです。自

分たちがしているのは、ファイターとファイターの元気の交換会なんです。戦うもの同士がその勇気をたたえあうことこそプロレスの素晴らしさだと思います。

その他の活動について

難しさを抱えた子どもが全国から集まる「フリースクール玄海」でプロレスの授業をしています。毎年15人くらいの、引きこもりだった中高生が一年にわたって練習を重ね、最後は、親の前で試合を披露します。試合の目的は、見にきた親を感動させること。試合の流れから入場テーマまで全部彼らが決めます。自分の顔に絵を描いたり、本当にふざけたものもありますが、彼らの生き生きとした姿を見て親たちは小さかった頃を思い出して、笑っている一方で嬉しくて泣いている親もいます。プロレスを通して彼らが得る一番の大きなものは、人に喜びを届ける



▲リング上で子どもたちへプロレスの授業



▲世代・性別・境遇関係なく、多くの人へ元気を届ける施設慰問

という体験で、それが何よりも自信になるんじゃないかと思います。たまに卒業した子と会ったら、その変化にびっくりすることがあります。彼らが、プロレスを通して体と体がぶつかり合うことで、何かが変わるきっかけになれたのなら嬉しいです。自分たちはプロレスラーになるという夢を叶えてもらった人間なので、子ども達にも夢は叶う、人生は楽しいっていうことを感じてほしいです。

これから九州プロレスはどうなっていますか？

コロナ以降、まさに元気がなくなっていたような気がしています。なので、こういう時こそ光を灯さないといけないと思い、2028年の九州プロレスの20周年にPayPayドーム

で試合する！と大々的にぶち上げました。今はドームでの大きな試合ができる組織は、年収はどのくらいか、社員、選手がどのくらい必要かと逆算して考えるようにしています。しかし、現状の社員、選手数だとこれは達成できません。まずは自分たちのスケールを拡大し、日本だけでなく世界からも人を呼び込むにはどうしたらいいかと思案中です。せっかくアジアの真ん中の福岡で試合が出来るのですから。

NPO法人九州プロレス

2007年に団体を設立。プロレスの試合の他に、プロレス授業を通じた青年健全育成や、施設慰問活動など幅広く活動を行っている。

<https://www.kyushu-pro-wrestling.com>

GOOD ACTIVITY FILES

38 福岡に若者の表現の場を SNSでストリートカルチャーを発信

特定非営利活動法人Youth creative group

福岡のエンターテインメントをもっと盛り上げていきたいという思いで、アーティストを志す若者に表現の場を提供しています。ダンス、エクストリーム、音楽、アートといった若者のストリートカルチャーを、SNSを活用して発信。コロナ禍



においても、youtubeにて映像配信型のライブイベントを開催しています。今後は、小さな子どもたちに表現の楽しさを伝えるワークショップや、福祉施設でのパフォーマンスなど、活躍の幅を広げていきます。

グッド・アクティビティ・ファイル

39 プロアマ問わず、すべての人が文学の担い手になることを目指して

文学フリマ福岡事務局

文学フリマは、全国で開催されている文学作品の展示即売会です。文壇や文芸誌という括りの中で閉じてしまいがちな文学の世界で、全ての人が文学の担い手になってもらうことを目指して活動しています。日本各地に事務局が



あり、プロ・アマのジャンルを問わず、さまざまな文学作品が発表され、新たな才能の発掘の場にもなっています。作り手と読者が、直接コミュニケーションがとれる場作りを通して、文化の発展、向上に寄与します。

このコーナーでは「社会にイイ活動＝Good Activity」を行っている団体をご紹介します。ボランティアに参加したいときや、自分たちの団体とつながる仲間を探すときなど、ぜひ参考にしてください。

40 音楽で元気と笑顔を届けたい 福岡を音楽あふれる心豊かなまちに

特定非営利活動法人OnPal

入院生活を送る子どもたちに音楽で元気と笑顔を届けたいという思いから、プロの演奏家による音楽授業やコンサートをボランティアで行っています。九州大学病院でスタートした“元気アートプロジェクト”の音楽部門



から団体を立ち上げ、福岡県内のみならず熊本や佐賀の病院にも活動を広げられました。コロナ禍で病院への訪問ができないうち、youtubeにて「おんぱるチャンネル」を開設。クリスマスコンサートなどの動画投稿を行っています。



▲(左から)佐々木日田丸、ばってん×ぶらぶら、玄海、筑前りょう太、野崎広大、めんたい☆キッド、桜島なおき

@データ

「@データ」は、市民公益活動に関わるさまざまな「データ」をもとに、詳しい方の意見を聞いたり、考えるきっかけをつくるコーナーです。

Tag:

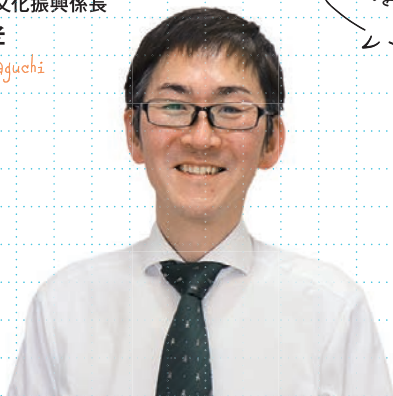
#アートで彩りのある生活を

教えてくれた方

福岡市経済観光文化局文化振興部
文化振興課 文化振興係長

山口 敏孝

Toshitaka Yamaguchi



身近なアートで
市民を元気に！

文化芸術とウェルビーイング

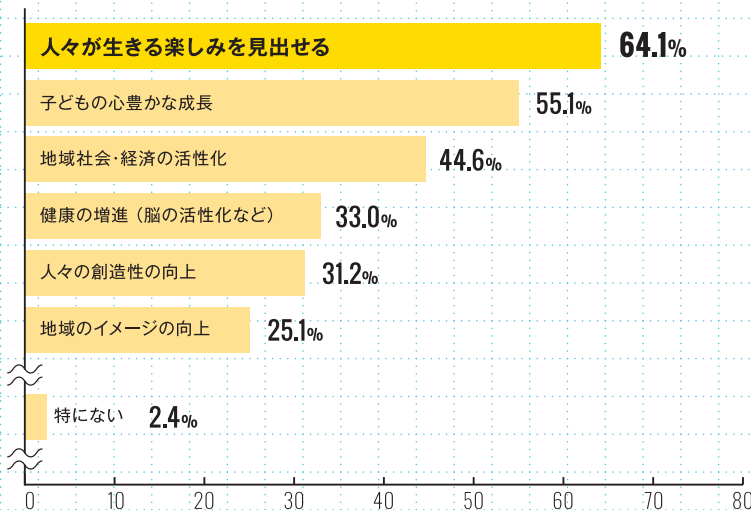
福岡市の第9次基本計画では、「心豊かに文化芸術を楽しむまちづくり」という施策を掲げています。この施策は、いま注目を集めている「ウェルビーイング(幸せ、いきがい)」の考え方にもつながっています。令和元年に策定された「福岡市文化芸術振興計画」は、基本計画における「生活の質の向上と都市の成長の好循環を創り出す」という基本戦略に基づいており、令和4年度は、アートを生活の中に取り入れることで、市民のウェルビーイングの向上を目指していきます。市の行う「一人一花運動」では、花が咲いているだけで癒しや喜びに繋がります。そのような力がアートにもあり、市民からも期待されています。【Data1:福岡市調べ】

コロナ禍だからこそ、アートで街の賑わいを創出

コロナ禍で美術館は閉館、演劇などの舞台も多くが中止となり利用者が減りました。【Data2:福岡市調べ】文化芸術は不要不急と言われ、生きる喜びを見失うような感覚が、市民のみなさんの中にあっただのではないのでしょうか。そんな中で、街中にアート作品を飾ることで賑わいを創出しようと、「Fukuoka Wall Art Project」を開催。天神ビックバンと博多コネクティッドの工事現場の仮囲いに、11のアート作品を展示しました。学校や職場への行き帰りの街中で、なにげなくアートを楽しんでもらう、そこに賑わいが生まれます。このプロジェクトは、コロナ禍で発表の場が少なくなっているアーティストへの支援にもなっています。

★Data1

ウェルビーイングにもつながる市民と文化芸術の関係性
市民が文化芸術の振興に期待すること



出典:文化芸術振興に関するアンケート調査(平成29年福岡市)※「福岡市文化芸術振興計画」より抜粋

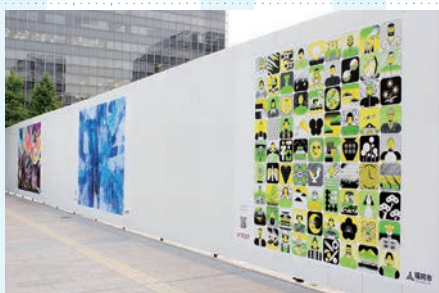
今後の施策

特に来年度はアートの充実に力を入れる予定です。これまで福岡市がスタートアップ事業で培ってきたノウハウをアートにも活かす「Fukuoka Art NEXT」に取り組みます。その中で「アートウィーク」の開催、アート発信拠点「アートカフェ」の検討などを行う予定です。

「アートウィーク」は、「おうちにアートを、職場にアートを、街にアートを！」をコンセプトとし、みんなで一緒に福岡をアート一色にするようなイベントを計画中です。そして、日頃から美術館に行く機会がない人にも、街中で、ふとした瞬間にアートに触れる機会を持ってもらおうと企画しているのが「アートカフェ」です。これをきっかけに美術館やギャラリーに行く人が増えたらいいなと思っています。

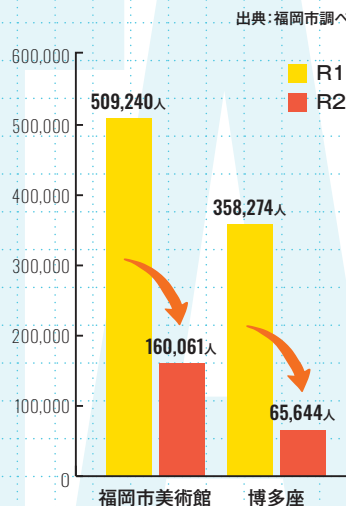
もちろん、福岡がアートで溢れる街になるためには、アーティストの成長支援も忘れてはいけない視点です。旧舞鶴中学校を活用した拠点「アーティストカフェ」が開設・運営されます。

4月から「アートのまちづくり推進課」が新しく誕生し、事業を行っていきますので、ぜひご注目ください。



★Data2

コロナ禍における文化施設の利用者数の推移



出典:福岡市調べ

Fukuoka Art NEXT

- ・アートウィーク
アートのある暮らしを推進するアートフェアと連携したイベント
- ・福岡アートアワード
若手アーティストの育成を目的としてアワードを創設
- ・アートカフェ
市民が都心で気軽にアートに触れる発信拠点の設置を検討

など

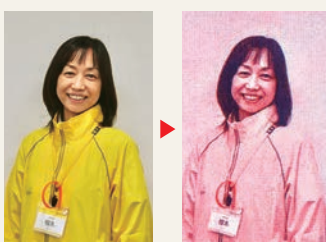
あすみんのオススメ

ASUMIN Recommend

輪転機で、リーズナブルに大量印刷

印刷数量が多い場合には、輪転機を使った印刷がお得です。

インクは、赤、青、黒の3色をご用意。同時に2色まで製版・印刷が可能です。写真やカラーの原稿も、パソコンで分版を設定することで、2色とは思えない鮮やかな印刷ができます。部分ごとの細かい色設定も可能です。カラーの原稿を印刷したい場合には、USBでデータをお持ちいただくことをおすすめします。お得で便利なワーキングコーナー、ぜひ使いこなしてみてください。



ホンダナ!

Hondana!

あすみんの図書コーナーに所蔵している書籍をご紹介します!

芸術文化と地域づくり アートで人とまちをしあわせに



ISBN: 978-4-7985-0281-6
定価: 2,420円 (2,200円+税)
判型: A5判
ページ数: 128

芸術文化を身近に楽しめるまちづくりに取り組んできた著者が、アートで人とまちを幸せにする力を伝えます。演劇の手法を使った教育プログラム「子どもの時間」や、住民の創造力を最大に引き出す「やねだん」集落の取り組みなど、芸術文化の力で地域活性化に成功した事例を紹介。創造力あふれる豊かな地域づくりのヒントが見つかる一冊です。

【著者】古賀 弥生
【発行社】九州大学出版会
【発行年】2020年

登録団体紹介

Organization Introduction

あすみに登録された団体を紹介します。(登録番号804~807)

- 福岡能楽大連吟実行委員会
- 特定非営利活動法人YNF
- UFO
- マインドセラビー協会



◀登録団体に施設利用許可カードを配付

登録有効期限に関するお知らせ

令和3年3月31日までに登録された団体の中で、更新手続きを済ませていない方は、令和3年9月30日をもって、本年度の登録有効期限が終了となっております(更新対象については利用カードの裏面をご確認ください)。更新手続きがお済みでない団体は、令和4年3月31日までに更新を完了しない場合、**登録に関する一切のデータが失効**となりますので、ご注意ください。また、**未登録の団体は、貸し室やホームページ(マイページ)の利用ができません**ので、あわせてご了承ください。

必要な書類など、詳しくは窓口へお問い合わせください

利用団体登録について

check!

あすみんでは、施設やサービスを利用される団体に関して、利用団体登録をお願いしています。**福岡市内で活動し、市民公益活動に取り組む団体(主にNPOやボランティア団体)が対象となります**。登録に必要な書類は、下記の(1)~(6)になります。ご記入のうえ、窓口までお持ちください。また、(7)は登録の際にご持参ください。登録申請時には、書類の確認・面談を行います。

登録に必要な書類

- (1) 福岡市NPO・ボランティア交流センター施設利用許可申請書(団体)
- (2) 団体の運営に関する規則(定款、規約、会則等)
- (3) 活動計画書
- (4) これまでの活動実績がわかる資料
- (5) 役員名簿
- (6) 自己チェックシート
- (7) 申請者本人確認書類(運転免許証、健康保険証など)

福岡市NPO・ボランティア交流センター あすみん

【住 所】〒810-0021 福岡市中央区今泉 1-19-22 天神クラス4F

【TEL】092-724-4801 【FAX】092-724-4901

【MAIL】info@fnvc.jp 【HP】https://www.fnvc.jp

【開館時間】月~土曜 9:00~22:00 日・祝日 9:00~18:00

【休館日】第4水曜日、年末年始 12月29日~翌1月3日

【facebook】https://www.facebook.com/asunoshimin/



お越しの際は公共交通機関をご利用ください

- 地下鉄をご利用の場合 ●七隈線「天神南」駅 1番出口から徒歩6分
- バスをご利用の場合 ●西鉄バス「今泉1丁目」徒歩1分
- 電車をご利用の場合 ●西鉄福岡(天神)駅 南口から徒歩5分



HP



facebook

